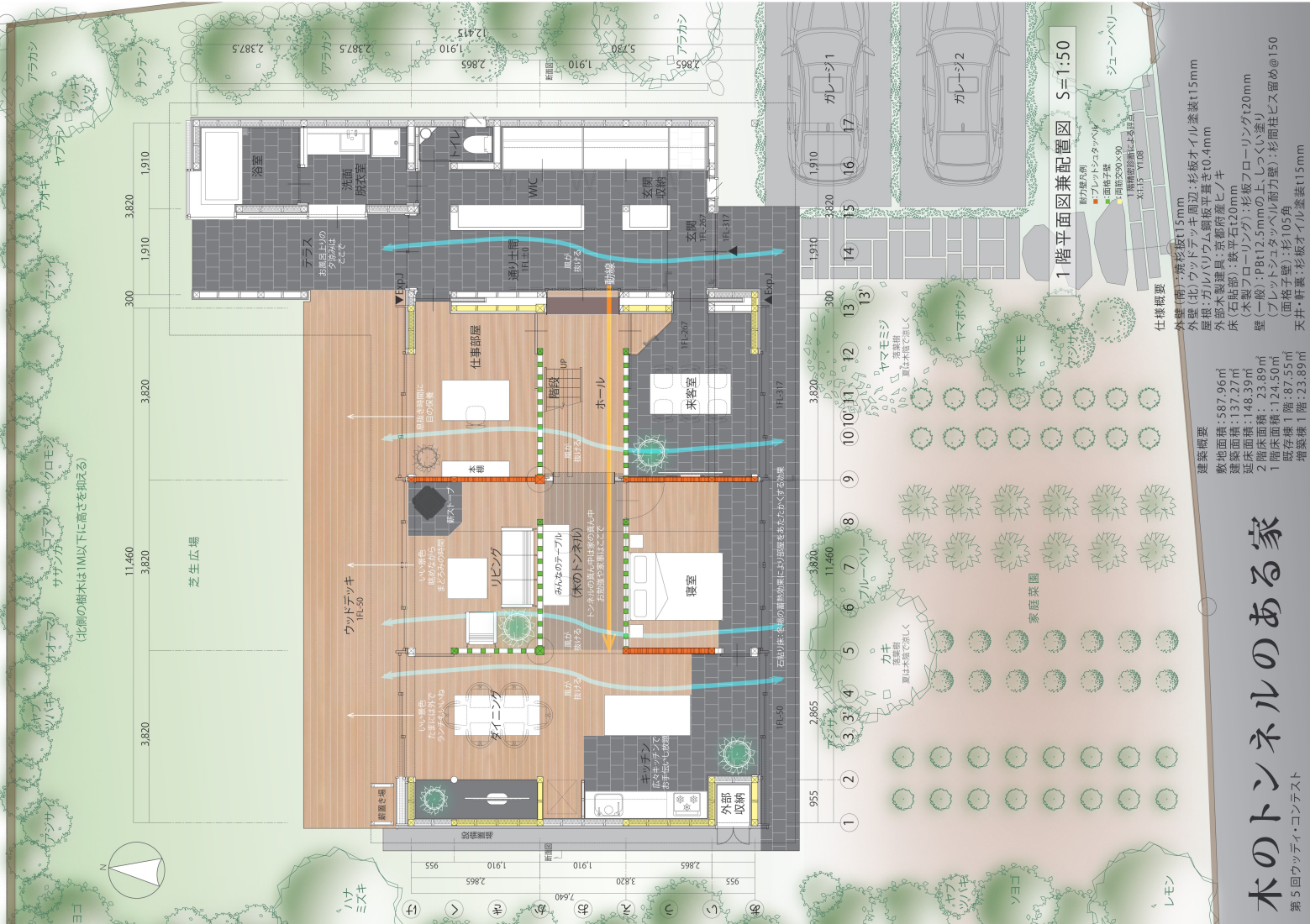


# 木のトンネルのある家

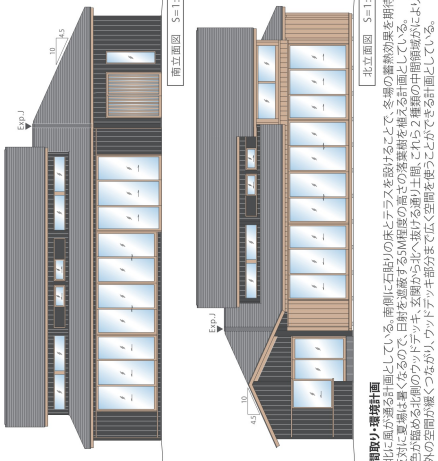
第5回ウッド・コンテスト

**建築概要**  
 敷地面積: 587.96㎡  
 延床面積: 137.27㎡  
 2階床面積: 148.39㎡  
 1階床面積: 23.89㎡  
 既存棟1階: 124.50㎡  
 増築棟1階: 23.89㎡

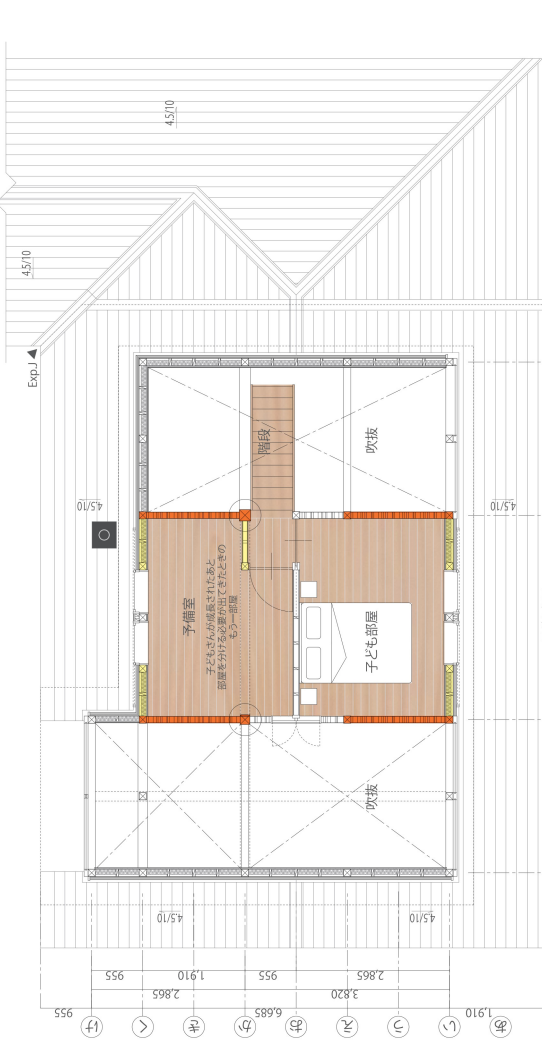
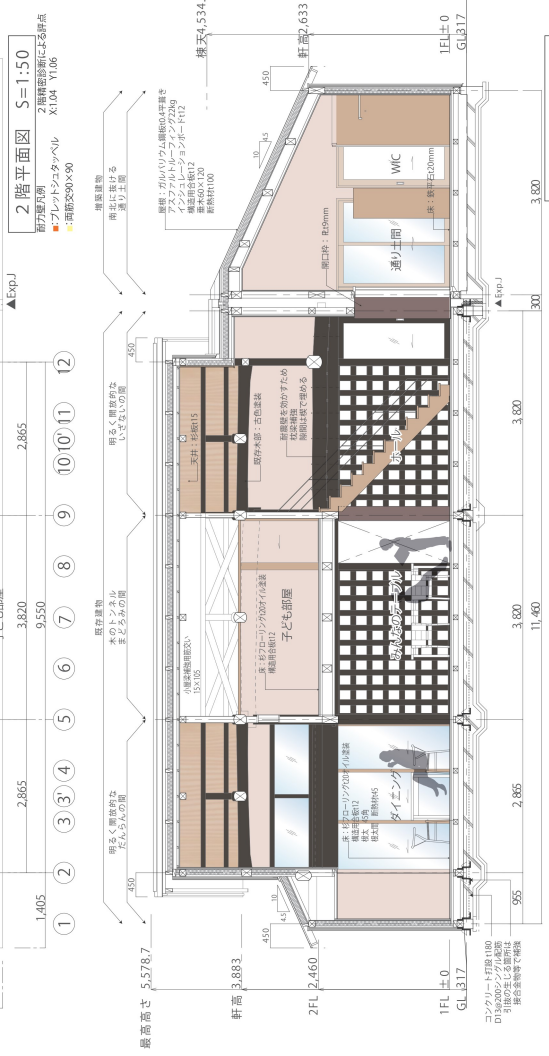
1階平面図兼配置図 S=1:50



**仕様概要**  
 外壁(南): 漆杉板t15mm  
 外壁(北・ウッドデッキ周辺): 杉板オイル塗装t15mm  
 屋根: カルバリュウム鋼板厚さ50.4mm  
 外部木製建具: 京都府産ヒノキ  
 床(石貼部): 敷平石t20mm  
 (木製フローリング): 杉板フローリングt20mm  
 (一般): PB12.5mmの上、しっくい塗り  
 プレットシタタイル(耐力量): 杉間柱ヒス留め@150  
 (面格子壁): 杉105mm  
 天井: 杉板、杉板オイル塗装t15mm



**■耐震・耐風・耐水・耐火**  
 耐震: 既存の玉石基礎、基石が動かないよう、D1300200のシングル脚筋を敷いた上でコンクリートで固める計画としている。また、玉石基礎や土台については、引き基の生じを防ぐため、コンクリートで固める計画としている。  
 耐風: 主に2階床が存する面が風の真下に重畳的に配置されているため、風圧が分散し、耐風性能が高く、耐風の計画は、既存の耐風性能を維持する。  
 耐水: 主に2階床が存する面が風の真下に重畳的に配置されているため、風圧が分散し、耐水性能が高く、耐水の計画は、既存の耐水性能を維持する。  
 耐火: 既存の耐火性能を維持する。  
 ※プレットシタタイルについて  
 プレットシタタイルは、1階にも可能な範囲で設置する。既存の耐震性能を維持する。また、耐震性能が高く、耐風の計画は、既存の耐震性能を維持する。また、耐震性能が高く、耐風の計画は、既存の耐震性能を維持する。



**2階平面図 S=1:50**  
 耐震: 2階部分耐震による耐震  
 プレットシタタイル X1.04 Y1.06  
 間隔200×90



プレットシタタイル  
 法政大学新館(間隔200×90)